

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2024年2月14日

【四半期会計期間】 第30期第3四半期(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

【会社名】 株式会社テクノスジャパン

【英訳名】 TECNOS JAPAN INCORPORATED

【代表者の役職氏名】 代表取締役 吉岡 隆

【本店の所在の場所】 東京都新宿区西新宿3丁目20番2号 東京オペラシティタワー14階

【電話番号】 03-3374-1212(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 小林 希与志

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区西新宿3丁目20番2号 東京オペラシティタワー14階

【電話番号】 03-3374-1212(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 小林 希与志

【縦覧に供する場所】 株式会社テクノスジャパン 関西オフィス
(大阪府大阪市北区堂島浜1丁目4番16号)
株式会社テクノスジャパン 中部オフィス
(愛知県名古屋市中区丸の内2丁目18番25号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第29期 第3四半期 連結累計期間 | 第30期 第3四半期 連結累計期間 | 第29期 |
|------------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 会計期間 | 自 2022年4月1日 至 2022年12月31日 | 自 2023年4月1日 至 2023年12月31日 | 自 2022年4月1日 至 2023年3月31日 |
| 売上高 (千円) | 7,996,449 | 9,509,160 | 11,025,529 |
| 経常利益 (千円) | 1,183,250 | 1,230,112 | 1,356,934 |
| 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円) | 784,739 | 1,111,309 | 901,957 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 1,245,659 | 848,803 | 1,775,966 |
| 純資産額 (千円) | 6,025,415 | 7,139,598 | 6,564,373 |
| 総資産額 (千円) | 7,780,125 | 9,491,910 | 9,867,377 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | 40.70 | 57.89 | 46.84 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円) | 40.65 | 57.70 | 46.75 |
| 自己資本比率 (%) | 76.5 | 73.9 | 65.7 |

| 回次 | 第29期 第3四半期 連結会計期間 | 第30期 第3四半期 連結会計期間 |
|-------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 会計期間 | 自 2022年10月1日 至 2022年12月31日 | 自 2023年10月1日 至 2023年12月31日 |
| 1株当たり四半期純利益金額 (円) | 16.28 | 12.89 |

(注) 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、経営者が連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があるとして認識している主要なリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

(経営成績の状況)

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症における行動制限の緩和により、国内経済は緩やかな回復の動きを見せております。一方で、世界的な地政学リスクの高まりや物価上昇などにより、依然として先行き不透明な状態が続いております。

こうした環境の中、各企業は規模や業種を問わず、ビジネスモデル変革や生産性向上などDX（デジタルトランスフォーメーション）による課題解決に取り組んでいます。これに伴うIT投資意欲は引き続き堅調に推移するものと見込まれます。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高9,509,160千円（前年同期比18.9%増）、営業利益1,173,457千円（同4.3%増）、経常利益1,230,112千円（同4.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,111,309千円（同41.6%増）となりました。

(財政状態の状況)

資産

流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べ383,799千円増加し6,495,575千円となりました。これは主に売掛金及び契約資産が501,564千円増加し、現金及び預金が62,353千円増加し、電子記録債権が190,635千円減少したこと等によるものであります。

固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べ759,266千円減少し2,996,335千円となりました。これは主に投資有価証券が687,060千円、繰延税金資産が47,288千円減少したこと等によるものであります。

以上の結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ375,466千円減少し9,491,910千円となりました。

負債

流動負債の残高は、前連結会計年度末と比べ810,599千円減少し1,882,837千円となりました。これは主に未払法人税等が189,827千円、賞与引当金が171,641千円、買掛金が163,972千円、短期借入金が150,000千円、未払金が91,747千円減少したこと等によるものであります。

固定負債の残高は、前連結会計年度末と比べ140,091千円減少し469,473千円となりました。これは主に繰延税金負債が167,046千円減少し、退職給付に係る負債が26,087千円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、負債合計は前連結会計年度末と比べ950,691千円増加し2,352,311千円となりました。

純資産

純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ575,224千円増加し7,139,598千円となりました。これは主に利益剰余金が814,019千円、為替換算調整勘定が161,916千円増加し、その他有価証券評価差額金が442,255千円減少したこと等によるものであります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが用いた会計上の見積り及び仮定は、前連結会計年度の有価証券報告書「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 重要な会計上の見積り及び当該見積りに用いた仮定」の記載から重要な変更はありません。

(4) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は177,574千円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 67,200,000 |
| 計 | 67,200,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2023年12月31日) | 提出日現在発行数(株) (2024年2月14日) | 上場金融商品取引所名 又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|---|-----------------------------|------------------------------------|---|
| 普通株式 | 20,400,000 | 20,400,000 | 東京証券取引所 (スタンダード市場) | 権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。 |
| 計 | 20,400,000 | 20,400,000 | | |

(注) 2023年10月20日付で、当社株式は東京証券取引所プライム市場から同取引所スタンダード市場に市場変更しております。

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|-------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 2023年12月31日 | | 20,400,000 | | 562,520 | | 212,520 |

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2023年12月31日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|--------------------|----------|----------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 1,205,700 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 19,180,400 | 191,804 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 13,900 | | 一単元(100株)未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 20,400,000 | | |
| 総株主の議決権 | | 191,804 | |

(注) 1. 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2023年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。
2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式40株が含まれております。

【自己株式等】

2023年12月31日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|--------------------------|---|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 株式会社テクノスジャパン | 東京都新宿区西新宿3丁目 20番2号東京オペラシティ タワー14階 | 1,205,700 | | 1,205,700 | 5.9 |
| 計 | | 1,205,700 | | 1,205,700 | 5.9 |

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の「自己株式等」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2023年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2023年10月1日から2023年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|-------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,138,635 | 3,200,988 |
| 売掛金及び契約資産 | 2,325,234 | 2,826,799 |
| 電子記録債権 | 406,732 | 216,097 |
| 商品 | 130 | 103 |
| 仕掛品 | 209 | 3,254 |
| 前払費用 | 113,537 | 104,588 |
| その他 | 133,497 | 147,027 |
| 貸倒引当金 | 6,201 | 3,283 |
| 流動資産合計 | 6,111,775 | 6,495,575 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物附属設備 | 248,451 | 248,097 |
| 減価償却累計額 | 120,114 | 131,029 |
| 建物附属設備（純額） | 128,336 | 117,068 |
| 工具、器具及び備品 | 114,281 | 110,599 |
| 減価償却累計額 | 94,640 | 94,891 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 19,641 | 15,707 |
| その他（純額） | 3,623 | |
| 有形固定資産合計 | 151,601 | 132,776 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 2,562 | 1,607 |
| ソフトウェア仮勘定 | | 600 |
| 顧客関連資産 | 490,945 | 465,899 |
| のれん | 257,128 | 225,286 |
| その他 | 64 | 64 |
| 無形固定資産合計 | 750,701 | 693,458 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,269,729 | 1,582,669 |
| 関係会社株式 | 22,182 | 20,431 |
| 関係会社長期貸付金 | 15,000 | 32,648 |
| 長期前払費用 | 53,727 | 58,806 |
| 繰延税金資産 | 87,353 | 40,065 |
| 敷金及び保証金 | 228,526 | 228,735 |
| 保険積立金 | 90,682 | 94,269 |
| その他 | 86,096 | 112,474 |
| 投資その他の資産合計 | 2,853,299 | 2,170,100 |
| 固定資産合計 | 3,755,601 | 2,996,335 |
| 資産合計 | 9,867,377 | 9,491,910 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|--------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 669,609 | 505,636 |
| 短期借入金 | 450,000 | 300,000 |
| 未払金 | 281,236 | 189,489 |
| 未払費用 | 180,092 | 171,326 |
| 未払法人税等 | 378,091 | 188,264 |
| 未払消費税等 | 119,224 | 90,869 |
| 品質保証引当金 | 27,024 | 29,634 |
| 賞与引当金 | 301,215 | 129,574 |
| 役員賞与引当金 | 36,178 | |
| 株主優待引当金 | 15,139 | 1,582 |
| その他 | 235,624 | 276,460 |
| 流動負債合計 | 2,693,437 | 1,882,837 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 466,933 | 299,886 |
| 役員退職慰労引当金 | 24,870 | 26,430 |
| 退職給付に係る負債 | 30,089 | 56,177 |
| 資産除去債務 | 87,672 | 86,979 |
| 固定負債合計 | 609,565 | 469,473 |
| 負債合計 | 3,303,003 | 2,352,311 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 562,520 | 562,520 |
| 資本剰余金 | 202,747 | 202,747 |
| 利益剰余金 | 5,125,198 | 5,939,217 |
| 自己株式 | 819,050 | 815,957 |
| 株主資本合計 | 5,071,414 | 5,888,527 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,288,129 | 845,874 |
| 為替換算調整勘定 | 127,373 | 289,289 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 1,898 | 5,947 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,413,605 | 1,129,215 |
| 株式引受権 | 21,585 | 43,301 |
| 新株予約権 | 6,946 | 5,849 |
| 非支配株主持分 | 50,821 | 72,704 |
| 純資産合計 | 6,564,373 | 7,139,598 |
| 負債純資産合計 | 9,867,377 | 9,491,910 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 7,996,449 | 9,509,160 |
| 売上原価 | 5,508,963 | 6,469,799 |
| 売上総利益 | 2,487,486 | 3,039,361 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,362,833 | 1,865,904 |
| 営業利益 | 1,124,652 | 1,173,457 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10 | 237 |
| 受取配当金 | 20,980 | 26,032 |
| 受取手数料 | | 17,280 |
| 債務免除益 | 22,090 | |
| 持分法による投資利益 | | 819 |
| 助成金収入 | 5,590 | 10,501 |
| 為替差益 | 9,908 | 2,304 |
| 投資事業組合運用益 | | 1,880 |
| その他 | 3,916 | 5,849 |
| 営業外収益合計 | 62,496 | 64,905 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | | 2,513 |
| 支払手数料 | 2,999 | 5,736 |
| 持分法による投資損失 | 583 | |
| 投資事業組合運用損 | 316 | |
| その他 | | 0 |
| 営業外費用合計 | 3,899 | 8,250 |
| 経常利益 | 1,183,250 | 1,230,112 |
| 特別利益 | | |
| 保険解約返戻金 | 3,673 | 949 |
| 投資有価証券売却益 | | 459,859 |
| 特別利益合計 | 3,673 | 460,808 |
| 特別損失 | | |
| 保険解約損 | 89 | 61 |
| 特別損失合計 | 89 | 61 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,186,833 | 1,690,860 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 432,750 | 491,536 |
| 法人税等調整額 | 42,899 | 73,997 |
| 法人税等合計 | 389,851 | 565,533 |
| 四半期純利益 | 796,982 | 1,125,326 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 12,243 | 14,016 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 784,739 | 1,111,309 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 796,982 | 1,125,326 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 238,486 | 442,255 |
| 為替換算調整勘定 | 210,190 | 169,995 |
| 退職給付に係る調整額 | | 4,262 |
| その他の包括利益合計 | 448,677 | 276,523 |
| 四半期包括利益 | 1,245,659 | 848,803 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,223,941 | 826,920 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 21,717 | 21,882 |

【注記事項】

(会計方針の変更等)

(売上計上方法の変更について)

当社グループでは、受注制作のソフトウェア開発に関する収益認識は、原則として、契約における履行義務を充足するにつれて一定の期間にわたり収益認識を行っておりますが、ごく短期的な契約については、完全に履行義務を充足した時点で収益認識を行っておりました。

2023年8月より、経営及び業務の更なる合理化、効率化のため、旧基幹システムに替えて新基幹システムを稼働させております。

これを契機に、より適正な損益管理を目的として、受注額が確定している全ての契約について、履行義務を充足するにつれて一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更いたしました。

なお、今回の変更が当第3四半期連結累計期間の四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び利益剰余金の当期首残高に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|--------|--|--|
| 減価償却費 | 35,668千円 | 62,868千円 |
| のれん償却額 | 19,106千円 | 38,525千円 |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 2022年5月13日 取締役会 | 普通株式 | 276,267 | 14 | 2022年3月31日 | 2022年6月10日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2022年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式609,200株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が299,969千円増加しております。

また、2022年5月13日開催の取締役会において、当社の従業員3名に対する譲渡制限付株式付与に伴う自己株式9,029株の処分を行うことを決議し、実施いたしました。加えて、2022年11月7日開催の取締役会において、当社の従業員46名に対する譲渡制限付株式付与に伴う自己株式58,000株の処分を行うことを決議し、実施いたしました。これらの処分により、当第3四半期連結累計期間において、利益剰余金が14,833千円、自己株式が45,687千円減少しております。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末において、利益剰余金は5,008,225千円、自己株式は822,551千円となりました。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|-----------------|------------|-----------|-------|
| 2023年5月15日 取締役会 | 普通株式 | 297,543 | 15.5 | 2023年3月31日 | 2023年6月9日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、情報システムソリューションサービスの単一セグメントであるため、記載を省略しておりま
す。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

財又はサービスの種類別の内訳

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | その他 | 合計 |
|---------------|---------------------------|-----------|-----|-----------|
| | 情報システム ソリューション サービス | 計 | | |
| 準委任契約等 | 7,567,048 | 7,567,048 | | 7,567,048 |
| 請負契約 | 345,864 | 345,864 | | 345,864 |
| 販売契約 | 83,537 | 83,537 | | 83,537 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 7,996,449 | 7,996,449 | | 7,996,449 |
| その他の収益 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 7,996,449 | 7,996,449 | | 7,996,449 |

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

財又はサービスの種類別の内訳

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | その他 | 合計 |
|---------------|---------------------------|-----------|-----|-----------|
| | 情報システム ソリューション サービス | 計 | | |
| 準委任契約等 | 8,435,299 | 8,435,299 | | 8,435,299 |
| 請負契約 | 512,243 | 512,243 | | 512,243 |
| 販売契約 | 561,618 | 561,618 | | 561,618 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 9,509,160 | 9,509,160 | | 9,509,160 |
| その他の収益 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,509,160 | 9,509,160 | | 9,509,160 |

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) |
|---|--|--|
| (1) 1株当たり四半期純利益金額 | 40円70銭 | 57円89銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円) | 784,739 | 1,111,309 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円) | 784,739 | 1,111,309 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 19,279,007.78 | 19,196,349.56 |
| (2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 | 40円65銭 | 57円70銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円) | | |
| 普通株式増加数(株) | 24,098.21 | 64,880.73 |
| (うち新株予約権数(株)) | (7,583.80) | (6,790.89) |
| (うち事後交付型株式報酬による普通株式(株)) | (16,514.41) | (58,089.84) |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | | |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2024年2月13日

株式会社 テクノスジャパン
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中 村 憲 一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 篠 田 友 彦 印

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社テクノスジャパンの2023年4月1日から2024年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2023年10月1日から2023年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社テクノスジャパン及び連結子会社の2023年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前題に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前題に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。